

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3029

自然いっぱいのターブックを保つため

思いを込めた看板完成!!



市田豊子先生にインタビュー



こんなにたくさんのゴミが集まったよ。



喜如嘉ターブック野鳥まもり隊出動

今年で25年目になる喜如嘉小学校の野鳥観察。ターブックの自然を守ろうとする先輩たちの心が後輩たちにも受け継がれています。元気な3年生5名が喜如嘉ターブック野鳥まもり隊と称し、活動を始めました。多くの人に目を通してもらい、野鳥を守りたいという気持ちでいっぱいの3年生が書いたレポートをご紹介します。

喜如嘉ターブック野鳥まもり隊

喜如嘉小学校3年 金城勇斗、宮城天音、知念珠里亜、金城玲花、石川りりあ

3年生は、総合的な学習の時間で喜如嘉ターブックに集まる鳥を守るための学習をしています。なぜなら、喜如嘉ターブックには、多くの鳥がとんで来ます。わたり鳥やりゅう鳥など、沖縄でめずらしい鳥や数が少なくげつめつしそうな鳥もえさをもとめてやってきます。また、ターブックに巣を作る鳥もいます。そのために、野鳥がいつもとんで来て、えさのあるすごしやすい場所にしたいと思いました。

2ページに続く→

わんぱくに本領発揮の時がきた…

平成 25 年度わんぱく体験団

第2弾「田嘉里川で生きものをつかまえて観察しようPart3」

6月29日（土）、わんぱく体験団第2弾「田嘉里川で生きものをつかまえて観察しようPart3」が開催されました。

3年前から続けている田嘉里川の生きもの観察。自分たちの身近にある川にどんな生きものが住んでいるのか？捕まえて、調べることで足元にある自然に気づいて、大切にしようとする心を育てたい！そんな事務局の心とは裏腹に、川遊びを満喫するわんぱくたち（ちゃんと生きもの捕まえた？）。まっ、それでもいいか…。とにかく、みんなで思いきり川を楽しみました。



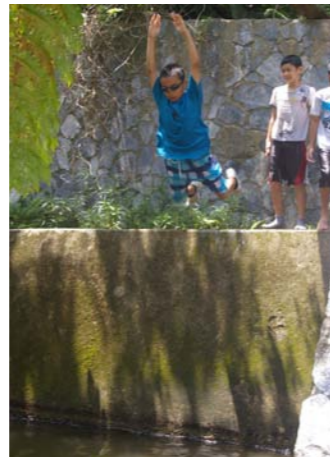
何捕れた？

狙いを定めて…



お父さん、頑張る

わんぱく飛び込み選手権



みんなが一番楽しみにしていたのは…



女子はまったく水遊び

午後からは図かん作りです。捕まえてきた生きものをよ〜く観察して名前を調べます。

カニやエビ、ヨシノボリの中にもいろいろな種類があって、細かく観察しないと種を判別できないものが多く、わんぱくたちはたくさんの本を見比べながら、自分が調べた生きものが何者なのか探し出していました。



どれにしようかな？



上手に描けた?? ルーペで確認!?



集中!

生きものの採集から調べ学習まで丸1日頑張ったわんぱくたち。一人一人が一生懸命自分の役割を果たしてくれました。

1 専門家に聞いてわかったこと

はじめに、鳥にくわしい方に野鳥をどのようにして守るかインタビューをしました。5、6年生の担任の山城春江先生、6年生、市田豊子先生、やんばる野生生物保護センターの上開地広美先生や中田先生から、おもに3つの大切な事を教わりました。

1つ目は、ゴミをすてない事。なぜなら、鳥がえさとまちがえて食べてしまったり、ケガをしたりしてしまうからです。

2つ目は、かっているネコをすてない。なぜなら、野ネコになって鳥やヒナを食べてしまったり、野ネコが赤ちゃんをうんでどんどんネコがふえたりするからです。



3つ目は、喜如嘉ターブクの自ぜんをこわさない。それは、田んぼをこわしたり、ミミズや虫、魚などえさがなくなったりしないことです。なぜなら、自ぜんがないと鳥のすみかがなくなって生き物もなく、生きていけないからです。

2 クリーン活動をしたこと

次に、専門家からのアドバイスで、6月12日に喜如嘉ターブクのごみひろいをしました。ごみひろいをしてわかったことが3つあります。

1つ目は、ビニールのゴミが一番多かったです。なぜなら、ビニールはかるくてとびやすいので、近くや遠くからとんで来たと考えられます。

2つ目は、プラスチックやペットボトルのゴミが2番目に多かったです。なぜなら、生活で使っている物や田んぼで使っている物がそのまますてられていたり、のみ物をのんで持ってかえらずにすてたりしていると考えられます。

3つ目は、紙が3番目に多かったです。なぜなら、生活で使った物やのみ物などをそのまま外において風でとんだと考えられます。

これらのゴミをそれぞれ重さをはかったら、ビニールが2キログラム、ペットボトルが1.5キログラム、紙が6キログラムでした。



3 これからの活動

わたしたちは、これまでの活動から、野鳥を守るために4つの活動をしていきたいと思っています。

まず、1つ目に大宜味村の新聞「あじまー」にネコをはなさないことや、ゴミをすてないことなどをのせて、多くの人に知らせて野鳥を守りたいです。

2つ目は、りゅう球新ぼうや沖縄タイムスの新聞に野鳥を守る活動とおねがいのお知らせをのせたいです。

3つ目は、地いきの人たちにネコをはなさないことのおねがいの手紙として書いてくばりたいです。

4つ目は、野鳥を守るためのかんばんを作って喜如嘉ターブクに立てたいです。かんばんには、ネコやゴミのことを書いて多くの人に見て知ってもらいたいです。

さいごに、わたしたちは、これからも野鳥を守っていく活動をつづけます。クリーン活動やケガをした鳥をたすける活動と、野鳥かんさつをして喜如嘉ターブクに来る鳥がへっていないか調べていきたいです。これからも自ぜんが多く、鳥がすみやすい喜如嘉ターブクにしていきたいです。



アメリカで生の英語を学ぶ…3週間の貴重な体験 海外短期留学出発

7月11日（台風7号の影響で1日繰り上げて出発）今年も村内から4名の生徒がアメリカミネソタ州セント・ジョーンズ大学に向け海外短期留学へ出発しました。

今年度の留学者は大宜味中学校2年の大嶺健斗君、山川元樹君、辺土名高校3年の平良尚道君、名護商工高校3年の崎山星斗君の4名。8月1日までの3週間、セント・ジョーンズ大学での授業や課外活動の中で英語を学び、ホームステイも体験し



ます。留学を前に健斗君は「自分の英語力を伸ばしたい」、元樹君は「自分が話す英語が外国でどれだけ通用するか知りたい」、尚道君は「アメリカの文化に触れ、沖縄の文化を教えたい」、星斗君は「将来の夢のために異文化体験を通して生きた英語を学び、スキルアップしたい」と抱負を話してくれました。3週間の体験で様々なことを吸収し、一回り成長して帰ってきてくれることを期待しています。



大学ってどんなところ？先輩たちに学ぶ 琉球大学オープンキャンパス

知美さんから学生の話をお聞かせ

7月20日（土）、村学推キャリア教育部会の活動の1つとして、琉球大学のオープンキャンパスに視察研修に行きました。



今年も教育学部教授の大城賢先生（大兼久出身）と院生の宮城知美さん（田嘉里出身）の案内で図書館や運動場、各学部の棟を回り、どのように利用されているか説明を受けた他、農学部では学生たちが取り組んでいる研究についてパネルを見ながら教えてもらいました。

午後は大城貞俊先生（賢先生のお兄さん）の特別講義があり、夢をかなえるために必要な7つのことを教えてくれました。また、キャンパス内にある風樹館では佐々木健志先生が館内を案内してくれ、特別にジュゴンやコウモリの頭の骨を触らせてもらったり、世界一大きいゴキブリを触らせてもらったり貴重な体験ができました。



この視察研修を通して、一人でも多くの子ども達が興味や関心を持ち、学ぶ意欲を発揮してくれることを期待しています。お世話になった先生方



大城貞俊先生



辻 雄二先生



宮城知美さん



大城賢先生



佐々木健志先生

平成25年度 大宜味村・西会津町「体験の翼」交流団 入団式

7月9日（火）、平成25年度大宜味村・西会津町児童生徒交流団「体験の翼」の入団式、17日（水）に事前学習会が行われました。

今年度は男子7名、女子8名の児童生徒が入団。入団式で団長の伊禮校長先生は「自分がかつて大宜味幼稚園の園長をしていた頃の子ども達がたくさんいて嬉しい。この体験を通し、今日の姿が大きく変わることを期待している。」と話しました。



3班
班長



花城瑞姫（大中1）

副班長



山城 樹（喜小6）

2班



新城 頼（大中1）



亀井 燎（大中1）

1班



花城綾姫（大中1）



安里風真（喜小6）

引率



団長：伊禮 健



副団長：中山盛延



看護：屋比久美樹



事務局：宮城 敦



高江洲真梨（津小6）



福地嬉楽璃（喜小6）



平良優亜（喜小6）



江田唯奈（津小6）



山城 願（喜小6）



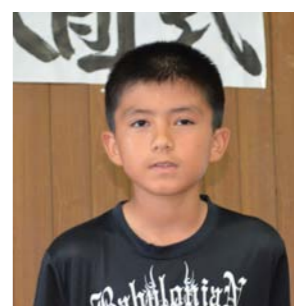
嵩原咲輝（喜小6）



山上爽太（喜小6）



宮城脩斗（塩小6）



島袋智史（大小5）

交流団受け入れ、歓迎式については次号のあじま〜で紹介いたします。



駆け抜ける
最後まで...



飛ば出す
いち早く...



盛上げる
声を張って...



走る
ただゴールを
目指して...

第10回 元気！おおぎみ リクジョっ子大会

7月6日（土）、第10回 元気！おおぎみ リクジョっ子大会が開催されました。
天候にも恵まれ、暑い1日となったこの日、昨年10月、田嘉里区出身の大嶺秀宣さんより寄贈されたリクジョっ子の優勝カップを最初に手にするのはどこの校区か!? 気温を上回るような白熱の接戦が繰り広げられました。



跳ぶ
より高く...

日頃の練習の成果を見せてくれた児童生徒たち。今年は男女、総合の部とも喜如嘉校区が1位となり、見事、大会2連覇を達成しました。
暑い中、子ども達のために応援に駆けつけてくれた保護者、地域のみなさま、大会運営のため汗水流して頑張ってくれた役員のみなさま、ありがとうございました。

喜如嘉校区2連覇達成おめでとう!!



投げる
力の限り...



繋げる
力を合わせて...



跳ぶ
より遠くへ...



大会新記録

(トラックの部)			
👑 100m 走	中1女子	花城綾姫 (津 波)	14秒40
👑 800m 走	中1女子	花城瑞姫 (津 波)	2分53秒6
(フィールドの部)			
👑 走幅跳	小4男子	平良悠翔 (喜如嘉)	3m42cm
👑 走幅跳	小6男子	金城海斗 (津 波)	4m40cm
👑 走高跳	中1女子	花城綾姫 (津 波)	1m20cm
👑 ヴォーテックス	小6男子	安里風真 (喜如嘉)	56m55cm
👑 ジャベリックスロー	中2男子	平良勇志 (津 波)	38m70cm

大会タイ記録

(フィールドの部)			
👑 立幅跳	小1女子	宮城 心美 (塩 屋)	1m36cm
👑 走高跳	小6女子	山城 願 (喜如嘉)	1m10cm
👑 走高跳	小6女子	福地嬉楽璃 (喜如嘉)	1m10cm



ぶながやパワー全開！あつつい夏を吹っ飛ばせ～

喜如嘉保育所 ぶながや夕すずみ会



暑さになんか負けないぞ！



チームワークばっちり♪



かわいい、かわいいお魚さん♪



きゃりー？
ぱみゅ？



揃った！キマった！



やっぱり、これでしょ
ぶながや太鼓

7月5日（金）、喜如嘉保育所で第33回ぶながや夕すずみ会が行われました。今年も子ども達の元気な踊りで幕開けし、ゆうぎやパーランクー、太鼓など各組とも練習の成果を発揮し、訪れた家族や地域の方々を笑顔にさせてくれました。

ヤマシシのごとく、全力投球！！

塩屋保育所 ヤマシシっ子夕涼み会

7月26日（金）、塩屋保育所で第33回ヤマシシっ子夕涼み会が行われました。サーサイの掛け声で元気に入場した子ども達。初めて参加する夕涼み会に緊張するひよこ組さん、力強いヤマシシ太鼓を見せてくれたひまわり組さん、それを指導する卒所児！? それぞれが楽しみながら演舞しました。



サーサーアングキーだ～いすき



舞台は緊張するねっ



夕涼み会始まるよ～♪



優雅なフラダンス



ヤマシシ太鼓のお出ました～！！



元気にジャ～ンプ！

先月号で紹介した池原先生の教育委員だよりの続きです。池原青年はその後どうなったのか？引き続き池原青年の学生時代をご紹介します。

教育委員だより 「花づくりが好きになるまで（大学生生活編）」

池原弘昭



昭和43年（1968年）の夏休み前半は、東北、北海道自転車旅行の資金を得るため奥秩父の山中で土木工事のアルバイトをした。より多くの資金が欲しかったので発破作業後の危険な作業、命綱を付けての急斜面の岩石の片付けなども率先してやった。飯場での生活は津軽の農村から来ていた十数人との共同生活であった。毎日の重労働で疲れているにもかかわらず、毎晩とってよいほど飯場を取り仕切っている世話人が率先して花札賭博に誘っていた。日々の重労働で得た賃金が瞬く間に吸い上げられる様子は映画のひとコマを見ているようでもあり、その場では意見することもできなかった。私が沖縄出身の学生であること、仕事はよく頑張っていること（運転免許を持っている）等で親方から信頼されていたので特に賭博に誘われて困ることはなかった。一月で賃金約6万円、賃金もできたので飯場を出て、東北、北海道自転車旅行に出発した。飯場を出るにあたって、次は北陸のトンネル工事があるからと何度もとどまるように説得された。親方の申し出を断るのがとても苦しかった。自転車旅行はギヤ付きではなく、普通の自転車で約35日間かけて東北、北海道を周遊した。その間、多くのことを体験し、見聞した。別の機会に紹介する事ができたらと思う。

昭和44年4月からは、東京大崎校舎で専門課程の学習が始まった。この年は沖縄返還運動、日大闘争や東大の安田講堂の攻防など大衆運動や学生運動が高揚している時期でもある。佐藤・ニクソン共同声明が発表され、「沖縄の1972年核抜き本土並み返還」が合意された年でもある。大学の出入口は学生自治会によって封鎖され、バリエードが築かれ、一時は校内への立ち入りも容易ではなかった。

このような状況の中でも大学では講義は行われた。しかし、県人会会長、沖縄問題研究会会長としての活動は継続していたので、学生運動を積極的に行っている学生からは「君は今、講義を受けている時ではないだろう。どうして自分たちと共に行動しないのか」と詰め寄られたり、講義への出席を妨害されたり、教室まで追いかけられ抗議されることが1年の時と同じようにたびたび起こった。しかし前にも述べたように、大学に学びに来ている目的が明確であったので、心身ともに厳しい毎日であったが沖縄で教師になることを一義的に考えて乗り切ることができた。

昭和45年、4年次は学生運動も落ち着きつつあり、沖縄の祖国復帰が1972年と明確になったことで沖縄問題研究会の活動にも区切りをつけ、教員採用試験の準備、卒論の準備に時間をかけられるようになった。

大学を卒業するには136単位ほどあればよいが、私は240単位ほど履修した。専門課程は自分が好きな講義がほとんどであり、どのような問題が課されても次の講義までにはレポートをまとめていた。まとめるにあたっては、関係する文献の調査を徹底するため、時間のゆとりがあれば研究室や図書館で文献目録や専門誌のバックナンバー等から論文などを調査していた。国立国会図書館へもよく文献調査に行った。お陰で、調査・研究の方法について学友から一目置かれるようになり大事にされた。また、渋谷の国学院大学との単位交換もあったのでそこでも講義を受けることができた。土曜日、日曜日は神田の古書店を散策するのが楽しみであった。岩波ホールイベントにはよく参加したものだ。金が無いので、下宿（五反田）から神田まで往復30キロの道程を徒歩で行くのである。どうしても欲しい本があれば、地下鉄工事、自動車の部品工場等でアルバイトをした代金で購入した。このような本が今書庫にあり、その一つ一つに購入時の思い出がよみがえる。

9月になって史学科の主任教授から大学院へ進学するよう勧められた。これまでの頑張りが評価されたことは大変うれしかった。しかし、後日学費を送っている家族のことを思うとこれ以上負担をかけたくないこと、卒業後は沖縄に帰ること等を話し、推薦をお断りした。それでも付属高校での非常勤講師の職も約束するのでと進学するよう説得されたが丁寧にお断りした。幸いにも採用試験に合格し、中学校の社会科の教師になることができた。主任教授からは、教師になっても度々、上京して大学院に進むことを期待していると声をかけてくださった。（教職生活につづく）



※お詫びと訂正：先月号で立正大学と書くところを誤って立教大学と記してしまいました。訂正してお詫び申し上げます。

お悩みホットLINE

児童 A

8月1日（木）

夏休みの宿題が残りません。どうしたら始業式までに終わることができますか？



教育相談員

夏休みは宿題がいっぱいありますよね。まとめて勉強をやるのではなく、毎日 30 分ずつでも勉強を続けるということが大切です。「継続は力なり」頑張ってくださいね！

8月6日（火）

母親 B

子どもが反抗期に入り、言う事を聞きません。どうしたら素直に言う事を聞くのでしょうか。



教育相談員

子どもが反抗するのは、「自立」のサインです。言う事を聞かそうとすることで親子間のトラブルが起こる事があります。大人の都合で過剰に押させついたり、我慢させるのではなく、自立に向かって成長している姿を受け止めて、成長してる姿を認めてあげてください。

8月の開室日

- 6日（火）
- 8日（木）
- 13日（火）
- 15日（木）
- 20日（火）
- 23日（木）

お気軽にご利用ください・・・

大宜味村教育相談室

TEL 44-3039 毎週火曜・木曜（9:00～17:15）

メール soudan@vill.ogimi.okinawa.jp

※メール相談は随時受付（但し、開室日以外の返信は後日になります）



ホッと

村内のホッと活動をご紹介します♪

大宜味人の する話

このコーナーでは地域の方々が取り組んでいるさまざまな活動を紹介していきます。紹介してほしい活動などあれば教育委員会「あじま〜」担当：倉持までご連絡ください。

「今年もたくさん収穫できました！！」

津波小学校がスイカを植えて早9年余になり、今年も一輪車8台余のスイカを収穫しました。最初にスイカの話を持ちかけたのは前教諭伊波保先生だそうです。それ以前は芋を植えていましたが、子ども達が収穫の喜びに関心がなかったため、子ども達が自分たちの手で収穫して喜びそうなものと考え、苦難の選択でスイカにしたそうです。しかし、何度も植えては失敗の繰り返しで苦勞の連続でした。今では毎年一輪車の7、8台は収穫し、児童は勿論、地域各家庭に一玉ずつ配布。学年毎に棟を作り、収穫の楽しさを毎年味わっている児童と職員です。収穫前になると上空からカラスが大玉のスイカを狙ってきます。「早くどけ」と朝の登校指導している身近で「カアカア」とねだっている鳴き声。グラウンドには4、5羽がおり、今か今かと狙っています。放課後、畑まで足を運んで見ると、やはり玉の大きいスイカが口ばしでつつかれています。割って味見してみると甘みがあります。カラスは人間より賢いのかな？これまでPTAと音頭を取って下さったのは職員の比嘉園美先生、比嘉聡子先生のお二人で、女性ながら草刈り機を自由自在に操り、それがスイカの心に通じたのでしょうか？玉の大きいスイカに「ありがとう」とささやかれた二人です。



◆伊禮健校長先生のコメント◆

スイカの栽培は本校の特色ある取り組みの一つとして、伝統的に行なわれていますが、私にとっては初めての経験なのでとても楽しみな一方、うまくできるかどうか不安もありました。案の定、追肥で失敗し、根焼けの為、木が急に枯れだしてしまいましたが、収穫の量は例年並みだという事で安心しています。次年度は今年の経験を生かし収穫アップを目指しています。

「津波老人会と婦人会がW優勝あっぱれ！！」

7月に行われた第23回大宜味村老人会グラウンドゴルフ大会で津波老人会が、更に、6月13日に行われた村婦人会主催美化コンクールでは津波婦人会が見事優勝を果たしました。婦人会長宮城久子さんは「国道沿いの美化は勿論のこと、部落内も整然として他の部落より一歩手入れが行き届いていた。」



国道沿いの見事な花壇



学校前の花壇も立派♪

と話してくれました。老人会のみなさんは日頃から小学校前の花壇も暇を見つけては草取りなどをしてきています。これまでに例のないW優勝!! 今後も区長や老人会長、婦人会と区民が一つになり息ががっちりした良い環境作りに汗して、泥して頑張りたいです。「ワンチャンス」は一度とよくいわれたものです。癒しの花壇♪

津波小学校 吉田春子



ドゥーチユムニー（独り言）

友寄景善

沖縄県外に初めて行ったのは社会人一年生になった二五歳の時であった。早生れ（二月）であったが一年遅れて小学校へ入学した。高校一年の時に留年し、四力年の高校生活を送った。一浪して大学へ進学したこともあって、卒業時には既に二五歳に達していた。

大学卒業後、直ぐに大宜味村役場に採用された。当時、『日中友好九州青年の船』という事業があり、九州各県の青年とともに中国を訪問するチャンスを得た。その事前研修が熊本県の阿蘇山麓の研修施設であり、そこに参加するため、生まれて初めて沖縄を脱出した。まさに「井の中の蛙」が二五年目にして大海を知り始めるようになった。

県外に行きたい気持ちは強かったが。なかなか実現しなかった。自らチャンスを潰していたのかもしれない。地図を眺めるのが好きで、日本や世界各地の自然や暮らしを何時も想像していた。言わば、机上ですつと各地を訪問していた。

中学生の時、自分が理想とする空想の国土を描いた自分だけの地図を作成したこともあった。各地の自然や風土に、人一倍関心があったはずなのに殻に閉じこもっていた。それがやっと二五歳の時に一歩を踏み出すことができた。もつと早い時期に県外を体験すべきであったと、少しばかり悔いている。

本村が実施してきた福島県西会津町との児童生徒の交流事業『体験の翼』は二一回目を迎える。北国との交流を通し、様々なことが体験でき、視野も広がる。小中学生の時代には是非体験してほしい。海外短期留学は六年目となった。今年は、中学生二名、高校生二名の四名を米国に派遣することができた。大きく羽ばたいてほしい。居ながらにして世界の様子を知ることが出来る時代になったが、経験・体験に勝る学習はない。いつまでも財産として残る。是非、若いうちに体験してほしい。

今月の生きもの



リュウキュウテングコウモリ：ヒナコウモリ科

こんばんは。わたし、リュウキュウテングコウモリです。鼻が長くて天狗みたいに見えるのでこの名前がついたと言われてます。天狗よりずっと可愛いんだけどね(>_<) 実はわたし、1996年に初めて発見されたコウモリです。発見されてからも日が浅いし、夜に活動しているものだからなかなかみんなの目にも止まらなくてわたしのこと知っている人は少ないのがちょっとさみしかったです。やんばるの森でひっそり暮らしています。

～編集後記～

あつはなつい... お～おっと、間違えた。夏は暑いですね。今年は例年以上に暑いような気がします。暑いからと言ってクーラーの部屋に閉じこもっている人はいませんか？ 実は適度に汗をかくことも熱中症防止には必要だそうです。とは言ってもこの暑さ...早く秋にならないかな～？

8月の行事予定

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1日（木）区長会 プール開放 | 15日（木）終戦記念日 |
| 2日（金）プール開放 | 18日（日）国頭郡球格技大会（ソフトテニス） |
| 3日（土）ELS キャンプ ～ 11日 | 19日（月）旧盆（ウンケー） |
| 4日（日）国頭郡球格技大会（サッカー） | 20日（火）旧盆（中日） |
| 5日（月）水泳教室 ～ 9日 | 21日（水）旧盆（ウークイ） |
| 6日（火）プール開放 | 24日（土）郡バスケットボール大会 ～ 25日 |
| 8日（木）プール開放 | 25日（日）国頭郡球格技大会（ボウリング） |
| 10日（土）村夏まつり ～ 11日 | 塩屋湾のウンガミ（海神祭）～ 26日 |
| 11日（日）郡バレーボール大会 | 28日（水）始業式（幼・小・中） |
| 14日（水）わんぱく体験団③ ～ 15日 | 31日（木）国頭郡ゴルフ大会 |
| 村教職員夏季体験講座 ～ 15日 | |